

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名	クリアライトバスクリナー
整理番号	SDS 82-14
用途	浴場用洗剤

会社名	：クリアライト工業株式会社		
住所	：岐阜県関市山田 1539-3		
担当部署	：技術部		
電話	：0575-27-3051	FAX	：0575-27-3053
作成年月日	：2009年 4月1日	改訂年月日	：2015年 9月 25日

2. 危険有害性の要約

<GHS 分類>

本品に関する信頼性のあるデータが不足しているため、GHS分類ができず、現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：非該当

注意喚起語：非該当

危険有害性情報

最重要有害性： 特になし

有害性： 皮膚や眼、粘膜に長時間または繰り返し接触した場合、軽微な刺激性と炎症を起す恐れがある
誤飲により嘔吐、吐き気を催すことがある。

環境影響： 環境中への放出は避ける。

物理的及び化学的危険性： 通常の取扱いでは危険性は低い。

<注意書き>

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

合成ゴム手袋、保護マスク、及び保護眼鏡等をつけること。

本品はアルカリ性であり、他の薬品と混合しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

換気の良い区域で使用する事。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

水生生物に対して有害のおそれがあるため、環境への放出を避けること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.
非イオン系界面活性剤	非公開	非公開	非公開
両性界面活性剤	非公開	非公開	非公開
キレート剤	非公開	非公開	非公開
ビルダー	非公開	非公開	非公開
水	非公開	7732-18-5	—

4. 応急処置

- 眼に入った場合 ・こすらず、直ちに流水で15分以上まぶたの裏まで洗眼し、すみやかに医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合 ・直ちに多量の水と石鹸で15分以上洗い流し、痛みのある場合は医師の手当てを受ける。(衣服にかかってしみこんだ場合も同様の処置を行う)
- 飲み込んだ場合 ・直ちに口をすすぎ、うがいをし、多量の水または牛乳を飲ませる。無理に吐かせない。医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 ・空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、なお気分の悪い場合は速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の処置

- 消火方法 ・周辺火災の場合には、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
・製品自体に引火性はない。
- 消火剤 ・周辺の火災に適した消火剤で消化する、(水、炭酸ガス、泡、粉末)

6. 漏出時の措置

- 除去方法 ・できるだけ速く漏洩源を止める。
・少量の場合は、ウエス、雑巾等によく拭き取る。
・多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。
・流出した液の上は滑りやすいため、作業員以外の立ち入りを禁止する
・作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項

- ・河川などへ濃厚液での漏出は避けること。
- ・廃液または濃厚な液は水を白濁させるので、十分な回収後水または温水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い・作業は換気の良い場所で行う。

- ・吸い込んだり、眼・皮膚・衣服等に触れないよう、保護メガネ・保護マスク・ゴム手袋・保護前掛け・保護靴等を着用する。
- ・容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、引きずったりしないこと。
- ・取扱後は身体・手・口・眼・顔をよく洗う。作業着に付着した場合は着替える。

保管 ・容器は直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

混触危険物質 ・酸

容器 ・推奨材料：ポリエチレン製容器

8. 暴露防止措置

管理濃度 : 知見なし

許容濃度 : 知見なし

設備対策 : 作業場の近くに洗顔器、安全シャワーを設置する。

保護具 : 保護メガネ・合成ゴム手袋・保護前掛け・保護靴・保護マスク

9. 物理／化学的性質

外観等 : 淡青色透明液体

pH : 12.0～13.0

融点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

爆発範囲 : データなし

比重 : 1.00～1.10

溶解度 : 任意の割合で溶解

自然発火温度 : データなし

10. 安定性・反応性

安定性 ・通常の手扱い条件では安定である。

避けるべき条件 ・日光、熱

混触危険物質 ・酸

1 1. 有害情報

急性毒性（経口）	: 推定値 ラット LD50= 10,000mg/kg 以上
急性毒性（経皮）	: データなし
急性毒性（吸入：ガス）	: データなし
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: 本品はアルカリ性のため、皮膚や粘膜を刺激すると考えられる。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 本品はアルカリ性のため、眼を刺激すると考えられる。
呼吸器感受性	: データなし
皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 直接排水溝などに流さない事 : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は内容物を除去した後に処分する。空容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国内規制

道路法	:	非該当
船舶安全法	:	非該当
航空法	:	非該当
国連番号	:	非該当
品名	:	非該当
国連分類	:	非該当
容器等級	:	非該当
海洋汚染物質	:	非該当
特別の安全対策	:	<ul style="list-style-type: none">・ 運搬に関しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。・ 栓のあるところを上にして積載する。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
化審法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	:	非該当 (2009 年 10 月 1 日改正前後共に)
水質汚濁防止法	:	(水素イオン濃度) (廃棄の場合)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	:	(水素イオン濃度) (廃棄の場合)

1 6. その他 (引用文献等)

- ・ (社) 日本化学工業協会、製品安全データシートの作成指針 1992.8
- ・ Sax's Dangerous properties of Industrial Materials, 1992

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。